

県立高校校名検討懇話会 県立高校改革実施計画（Ⅲ期）第二次報告書

令和7年1月17日
 県立高校校名検討懇話会
 会長 山本 光

県立高校校名検討懇話会（以下「懇話会」という。）は、県立高校改革実施計画に基づき、学科改編及び再編・統合等の対象となった高校の名称案について検討するため、平成28年4月に設置された。

懇話会では、このたび、県立高校改革実施計画（Ⅲ期）により、令和8年度に再編・統合により新たに開校する2校の校名候補を選定したので、「県立高校改革実施計画（Ⅲ期）第二次報告書」として神奈川県教育委員会に報告する。

1 対象校について

(1) 令和8年度に再編・統合を実施する高校

令和8年度に再編・統合により新たに開校する2校について、校名選定の対象とした。

高校名 [所在地] (課程・学科)	再編・統合後の課程・学科
<p>田奈高校 [横浜市青葉区桂台2丁目39番2号] (学年制全日制 普通科(クリエイティブスクール))</p> <p>麻生総合高校 [川崎市麻生区片平1778番地] (単位制全日制 総合学科)</p>	<p>単位制全日制 総合学科(クリエイティブスクール) 田奈高校の敷地・施設を活用</p> <p>ただし、</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の田奈高校入学生(普通科(クリエイティブスクール))は、令和9年度まで新校に在籍 令和7年度の麻生総合高校入学生(総合学科)は、令和9年度まで麻生総合高校に在籍
<p>小田原城北工業高校 [小田原市栢山200番地] (学年制全日制 工業科)</p> <p>大井高校 [足柄上郡大井町西大井984番地1号] (学年制全日制 普通科(クリエイティブスクール))</p>	<p>学年制全日制 普通科(クリエイティブスクール) 工業科 小田原城北工業高校の敷地・施設を活用</p>

(2) 令和8年度に学科改編を実施する高校（定時制課程）

高校名〔所在地〕（課程・学科）	学科改編後の課程・学科
神奈川工業高校 〔横浜市神奈川区平川町19番地1号〕 （ <u>学年制定時制</u> 工業科）	単位制定時制 普通科・工業科 ・ただし、令和7年度の入学生（学年制工業科）は、令和10年度まで在籍 （全日制は、学年制工業科のまま）
神奈川総合産業高校 〔相模原市南区文京1丁目11番1号〕 （ <u>単位制定時制</u> 総合学科）	単位制定時制 普通科 ・ただし、令和7年度の入学生（総合学科）は、令和10年度まで在籍 （全日制は、単位制総合産業科のまま）

令和8年度に定時制課程の学科改編を実施する2校について、下記の理由から校名変更の検討対象としないこととした。

- ・学科改編は定時制課程のみ対象であり、全日制課程はこの限りではないこと。
- ・全日制と定時制で設置学科が異なる県立高校は存在しており、その校名は全日制の学科名に依拠していること。

全日制と定時制で設置学科が異なる学校	全日制課程の学科	定時制課程の学科
磯子工業高校	工業科	総合学科
向の岡工業高校	工業科	総合学科
神奈川総合産業高校	総合産業科	総合学科

2 校名選定の考え方について

校名選定にあたっては、「県立高校改革における校名選定の考え方」に基づき、協議・検討した。

県立高校改革における校名選定の考え方

1 校名選定の基本的な視点

- (1) 学校の所在地や学校の種類がわかりやすいこと。
- (2) 生徒や学校関係者、地域の方々に親しまれるものであること。
- (3) 生徒がその学校で学ぶことに喜びと誇りを持てること。

2 校名選定の考え方

基本的視点を踏まえ、既存名称の使用も含め、概ね次の考え方により校名を選定することとする。

(1) 学校の所在地の市区町村名を使用する。

- ① 市区町村名を使用することを原則とする。
- ② 既に、市区町村名が使用されている学校が存在する場合は、市区町村名と地名・地域名（字名、所在する地区を表す東西南北などを含む）を使用する。
- ③ 市区町村名、地域名等を使用することで既存の学校と類似する校名になる場合や、生徒が喜びと誇りを持てるような校名として適切な言葉がある場合は、学校の設置趣旨、期待等を表す言葉（ひらがなの使用など表記を工夫することを含む）などを使用する。
- ④ 既存の学校を除き、広域の地域名は、既存校と区別しやすい、あるいは、全県のバランス上など広域名を使用しても他への影響が小さい場合などに限り、使用を検討する。

(2) 学校の種類を表す言葉を付加する。

- ① 普通科は、これまでも学科を表す言葉を付加しないことから、これに合わせて、今後も学科を表す言葉はつけない。（フレキシブルスクールも普通科の単位制であることから、学科名はつけないが、学校の趣旨等を表す言葉やひらがなの使用など表記を工夫する。）
- ② 総合学科は、「総合」を付加することで学科を表す。なお、総合学科から他の学科への改編にあっては、原則として「総合」を削除する。
- ③ 専門学科にあっては、専門教育の特徴を表す言葉で学科を表す。この場合は、同一の学科は同一の言葉を使用する。ただし、複数の学科を併置する場合は、この限りでない。

(3) 上記のほか、次の点に留意する。

- ① 長さ、読みやすさ、語呂、略称（短縮した校名）、響きなどにも留意する。
- ② 既設校等の類似名称は避ける。
- ③ 差別語、揶揄される意味の言葉、地元や生徒等が嫌う語彙は避ける。

3 校名候補の選定

これまで、再編・統合においては、「①地名・町名等に関連するもの」「②両校双方の校名に由来するものやその特徴を表すもの」「③再編・統合後の新校を象徴するもの」「④既存の校名を活用したもの」の4つの視点で、校名候補を選定した。

今回は、再編・統合により新たに開校する高校が対象であることから、これら4つの視点から検討し、選定した。

田奈高校・麻生総合高校の校名候補

校名候補案	主な選定理由	視点
<p>青葉総合 (あおばそうごう)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新校の所在地の区名である「青葉」を冠する。 ○ 新校は総合学科となることから、学科を表す言葉「総合」を付す。 ○ 両校の現校名を使用しないことで、新校として一つになって発展するイメージを表す。 ○ 「青葉」は、新緑の葉が成長していくイメージがあり、新校にふさわしい。 ○ 他の県立高校の全日制総合学科（鶴見総合、金沢総合、藤沢総合、秦野総合、座間総合）も、市名又は区名を冠しているため、整合性がある。 	<p>① ③</p>
<p>横浜青葉総合 (よこはまあおばそうごう)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新校の所在地の市名・区名である「横浜青葉」を冠する。 ○ 知名度の高い「横浜」を冠し、所在地を分かりやすくする。 ○ 新校は総合学科となることから、学科を表す言葉「総合」を付す。 ○ 両校の現校名を使用しないことで、新校として一つになって発展するイメージを表す。 ○ 「青葉」は、新緑の葉が成長していくイメージがあり、新校にふさわしい。 	<p>① ③</p>
<p>あおば総合 (あおばそうごう)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新校の所在地の区名である「あおば」を冠する。 ○ 平仮名の表記「あおば」は、優しい、柔らかいイメージがある。 ○ 新校は総合学科となることから、学科を表す言葉「総合」を付す。 ○ 両校の現校名を使用しないことで、新校として一つになって発展するイメージを表す。 ○ 「あおば」は、新緑の葉が成長していくイメージがあり、新校にふさわしい。 	<p>① ③</p>

ア 《学校を通じた意見聴取結果 田奈高校》

(ア) 【生徒】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
青燦 (あおさん)	空のように青く煌びやかに輝く生徒となる。そして、周りの人達にも、美しく見えるように。
青葉台 (あおばだい)	青葉台にあるから。
青葉ルミナス (あおば ルミナス)	地名の青葉と輝くという意味のルミナス、成功の光を表現している。
青葉総合 (あおばそうごう)	ここの駅が青葉台なので青葉を付けて、他の学校と合併するので総合を付けた。
田奈麻生総合 (たなあさおそうごう)	混ぜてみた。田奈という名前は残したい。
<p>その他、校名検討に関する意見 田奈総合(たなそうごう)、麻奈(あさな)、麻華(あさか)、The・平和総合(へいわそうごう)、麻田総合(あさだそうごう)、桂総合(かつらそうごう)等もあった。</p>	

(イ) 【教職員】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
横浜あおば総合 (よこはまあおばそうごう)	校舎が横浜市青葉区にある。青葉区は他県などでもあるので、「横浜」の地名を冠した。また、「あおば」をひらがなにしたのは、統合校の「麻生総合高等学校」の「あさお」のイメージを「あ」の音に込めるため。
横浜青葉 (よこはまあおば)	横浜市青葉区にあることを強調した校名。東名 I C 名にもなっているので場所のイメージを付けやすいから。総合学科になるが、あえて「総合」を付けなかった。
青葉総合 (あおばそうごう)	学校が青葉区にあることや、瑞々しい響きから。青葉区にある学校で、総合学科なので。青葉には「新たに出た若々しい葉」という意味もあるので、新校に入学し学びなおしをしていく生徒に適していると感じたから。
青葉台 (あおばだい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅名・高速道路 I C 名でもありなじみがある。 ・ 若々しく瑞々しい語感である。
早葉 (そうよう)	ロバート・フロストの詩"Nothing Gold Can Stay"より。 Nature's first green is gold, Her hardest hue to hold. Her early leaf's a flower; But only so an hour. 「萌えいずる緑は黄金 うつろい易き色よ 萌えいずる葉は花 それも一瞬「若葉が萌え出てくる時代は一瞬だが金色に輝いている」という主旨で、early leaf → 「早い葉」にちなんだもの。

都筑 (つづき)	学校のある一帯がかつて「都筑の原」と呼ばれていたことから。
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田奈、麻生総合の名前はなくなるが、学び直し、そして新たな目標に向かってスタートするには、新しい名前もよいのではないか。 ・新しい名前でのブランディングも大事だとは思いますが、すでにこの地にある田奈高校としての歴史や実績を軽んじるべきではない。田奈高校として行われた多くの取り組みを評価する声は、大学訪問等でも多く聞かれた。田奈高の名前は決して恥ずべきものではなく、誇るべきものである。無論、合併した新校ということで、田奈高校が主体のものではないことは理解しているが、田奈の名前は残してほしいというのが私の願いである。 	

(ウ) 【学校運営協議会】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
青葉未来 (あおばみらい)	青葉台の「あおば」という語感がいいこと、「あおば」につづく言葉として「未来」に夢を広げることを願って「おおば未来高校」とした。田奈という名前も残したかったが、2つの高校が合体するので、どちらにも偏らないようにとの思いからである。
青葉桜咲 (あおばおうさく)	青葉区の木である山桜の花言葉は、山の木々が芽吹くのに先駆けて上品な花が咲くのを見て、笑みがこぼれることから、「あなたに微笑む」。また、アメリカでの桜の花言葉は「good education(優れた教育)」である。微笑みのこぼれる学校生活がおくれる、優れた教育の場であるようにとの願いだ。
神奈川クリエイティブ総合 (かながわクリエイティブそうごう)	総合学科とクリエイティブスクールの統合であること、神奈川で初めての総合学科のクリエイティブスクールになることから考えた。
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <p>校名にクリエイティブを入れないのであれば、総合も入れなくて良いのではないかと。</p>	

(エ) 【PTA】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
田奈 (たな)	統合後の校舎の場所に由来 やはり田奈の名をなくしたくない。
精励 (せいれい)	勉学に精を出して励む、という生徒の心持ちやモチベーションをそのままストレートに表現し、また、その後の各生徒達の人生も精を出して励む、という言葉に胸に大切に過ごしてほしい、という思いが詰まった二字熟語からいただいた。

青葉台 (あおばだい)	田奈高校や麻生総合高校などの名前を引き継ぐのではなく、多様な生徒を受け入れる新しい学校に生まれ変わる意味を込めて、新しい校名にしたほうが良いと思う。最寄り駅を校名にするとわかりやすい。所在地名より。学生それぞれの特性、長所を活かし、仲間や教職員と一緒に学びを深める学校として。
光陽 (こうよう)	前向きに明るい未来を目指し学び直せる学校であつたらと思う。
青葉田奈 (あおばたな)	青葉台という土地、また田奈高校の名前を存続するため。
横浜青葉 (よこはまあおば)	<ul style="list-style-type: none"> ・青葉区にあり、緑豊かな土地にあるから ・青葉という言葉が、若々しいイメージで、成長していく高校生にあっているのではないかと思う。 ・地名なので学校のことが分かりやすく、説明しやすい。 ・青葉高校は全国に複数あるが、横浜をつけることで独自の名前になると思う。
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地名等の名前も良いかとは思いますが、日本語という世界に類を見ない美しさを活かした言葉が沢山あるという事、それらに込められた意味、校名を通して生徒達の学びになり、卒業生として胸を張って、こんなに素敵な意味の名前を持つ学校を卒業したのだと言える、思えるような学校の在り方、また、学風の1つの表現としての名前だと素敵だと思った。 ・在校生、卒業生が田奈高校に在籍している、していたことがわかるよう全く違う名前にするのは分かりづらいかと思う。 	

(オ) 【同窓会】(意見聴取の方法：本校に同窓会はなし)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
その他、校名検討に関する意見	なし

(カ) 【地域(自治会など)】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
青葉総合 (あおばそうごう)	青葉をつけたかったのと、神奈川総合のような、自由な学校のイメージを持ったため。
横浜青葉台 (よこはまあおばだい)	無難に青葉台から。ただ青葉台という地名は他県にも割とあるので、横浜をつけてお茶を濁した感じである。
青葉輝 (あおばかがやき)	青葉区で再編統合の新校なので、青葉区の青葉、そして、より輝きをもてる未来に結びつけられるようにしてほしいという願い

青葉台 (あおばだい)	青葉台にあり、統合されるので相応しい名前だと思った。
その他、校名検討に関する意見 もう片方の学校と上手く、すり合わせて良い名前作って欲しい。	

イ 《学校訪問にて意見聴取した結果：田奈高校》

生徒
<ul style="list-style-type: none">・「青葉総合」が良い。新校の最寄り駅が「青葉台駅」であることや、総合学科になるため「総合」を付けた方が良い。・「青葉台総合」よりも「青葉総合」の方が良い。・「青葉」は真っすぐ育つ、大樹のように他の人を守れるイメージがある。・「田奈」を残したいため、「田奈総合」が良い。・表記は、平仮名より漢字が良い。
教職員
<ul style="list-style-type: none">・「横浜あおば総合」が良い。横浜市青葉区に所在し、総合学科であるため。「横浜」を付けると分かりやすい。また、平仮名の表記「あおば」は優しい、柔らかいイメージがある。・「横浜青葉」が良い。東名ICもあり、分かりやすい。漢字表記が良い。・「田奈」は、今でも「相模田名高校」と間違えられることがある。
学校運営協議会
<ul style="list-style-type: none">・「青葉未来」が良い。所在地の区である「青葉」と「未来」を照らすイメージ。高校生の将来を願い、飛び立ってほしいという思いもある。・今後も田奈高校の特徴を生かして欲しいので、従来のイメージにとらわれず、「総合」がない方が良い。・平仮名表記「あおば」も良い。・「横浜」を付けることは、ピンとこない印象だ。
P T A
<ul style="list-style-type: none">・「青葉台」または総合高校なので「青葉総合」も良い。・「青葉」「青葉台」は横浜以外にもあるので、「横浜」を付けると良い。・新校なので「田奈」を残さなくても良い。・若者＝「青」のイメージなので、平仮名よりも漢字表記が良い。
同窓会
なし
地域の方
<ul style="list-style-type: none">・「横浜北」が良い。この周辺の支店名を「横浜北」とする企業が多い印象だ。・「青葉」と「青葉台」のどちらも良いと思う・「横浜」を付けることは、場所が特定しやすい点で良い。
学校管理職
<ul style="list-style-type: none">・「横浜未来」や「青葉未来」が良い。生徒の未来を創るとの思い。地名も含めて分かりやすい。「青葉未来」より「横浜未来」の方が良い。・「クリエイティブ」を付けないならば、「総合」も付けなくてよいのでは。・「みらい」等、平仮名表記については個人的には賛成だ。

ウ 《学校を通じた意見聴取結果 麻生総合高校》

(ア) 【生徒】(意見聴取の方法: グーグルフォーム、ならびに生徒会役員生徒による協議)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
麻奈総合 (あさなそうごう)	麻生総合から「麻」と「総合」、田奈から「奈」を取る。
桂台西総合 (かつらだいにしそうごう)	地名の桂台から。その西側にあるから。
その他、校名検討に関する意見 「田奈総合(たなそうごう)」「横浜北(よこはまきた)」「奈良(なら)」などもあった。	

(イ) 【教職員】(意見聴取の方法: アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
青葉総合 (あおばそうごう)	<ul style="list-style-type: none"> ・立地場所である青葉台のイメージと、総合学科であることから。 ・地名であり、青葉という響きがとても良いと感じた。また、省略した場合は「青総」となって神奈川県内の他の総合学科と区別できる。 ・青葉区にある学校であり、青葉のように青々と輝く青春を生徒達が謳歌できるよう、爽やかさがある。 ・新校が青葉区にある総合学科であるから。鶴見区の鶴見総合、金沢区の金沢総合とも整合性がある。
青陵総合 (せいりょうそうごう)	横浜市青葉区桂台(青葉台の丘)にある総合学科高校であることを表した。
横浜青葉総合 (よこはまあおばそうごう)	横浜市青葉区にあり、新たな学校として開校することから。(田奈や麻生総合などの旧校名を入れない)
都築総合 (つづきそうごう)	両校の地域はかつて武蔵国都築郡、両校歌にも「都築」の地名がある。ただし、所在地が都築区でない。
その他、校名検討に関する意見 特になし	

(ウ) 【学校運営協議会】(意見聴取の方法: アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
横浜青葉総合 (よこはまあおばそうごう)	所在地名として「青葉」を冠する。区名の由来として「若い芽がいきいきと育つように、将来に向けて、伸びやかに発展する」が挙げられており、新しい学校のイメージとして相応しい。また、青葉区内の県立高校3校(市ヶ尾、田奈、元石川)は平成6年の区誕生以前の設立であり、「青葉」を冠することで新しい学校を印象づけることができる。さらに「横浜」を冠する

	ことで、近隣の似た校名の高校（千葉県立君津青葉、東京都立若葉総合）との区別が明確になる。
その他、校名検討に関する意見 特になし	

(エ) 【PTA】（意見聴取の方法：アンケート、役員による協議）

校名(よみがな)	由来・理由・意見
あおば総合 (あおばそうごう)	旧校のイメージから一新したい。青葉をひらがなに して、やわらかいイメージにしたい。
横浜青葉総合 (よこはまあおばそうごう)	シンプルに地名を参考につけた。どこにあるのかがわ かりやすい。
青葉総合 (あおばそうごう)	旧校のイメージを刷新したい。
田奈総合 (たなそうごう)	田奈の校舎を使うから。
総合麻奈 (そうごうあさな)	総合学科であることと、両校から一文字ずつを合わせ た。
その他、校名検討に関する意見 特になし	

(オ) 【同窓会】（意見聴取の方法：団体の代表者からの聞き取り）

校名(よみがな)	由来・理由・意見
青葉 (あおば)	<ul style="list-style-type: none"> ・新緑の青々とした葉がこれから成長していくことを示す「青葉」は、これから大いなる成長を遂げる若者のイメージに合い、新校の開校にもふさわしい。 ・活用校の所在地(市)である「横浜」を付すことは川崎にある麻生総合との統合にはなじまない。地区も学科も異なる両校の統合では、これまでの校名に依らない名称とすることが望ましいという考えから、「横浜」や「総合」を付すことはしない方が良い。 ・今後、学科改編の可能性がゼロではないため、「総合」を付すことは、そのたびに校名を変更することになり、地域に根ざし、卒業生も長きにわたって母校を誇りに思う気持ちを持つていくためには、変更の可能性のある学科名を付すことは望ましくない。 ・「総合」を付すことで田奈高校の令和6・7年度入学生は「〇〇総合高校 普通科卒業」という校名と卒業学科名が異なってしまう。その説明を毎度のようには卒業生にとって将来にわたる負担となる可能性がある。（実際に柿生高校と柿生西高校

	で入学して麻生総合高校で卒業した普通科1期生と普通科2期生はこの問題を抱えている。)
その他、校名検討に関する意見 特になし	

(カ) 【地域（片平町内会）】（意見聴取の方法：団体の代表者からの聞き取り）

校名(よみがな)	由来・理由・意見
その他、校名検討に関する意見 新校は地元から離れることから、妙案が生まれなかった。	

エ 《学校訪問にて意見聴取した結果：麻生総合高校》

生徒
<ul style="list-style-type: none">・「麻奈総合」が良い。ゴロもいいし、「麻」で始まることで、非活用校である「麻生総合」の跡を残すことができるし、略称「麻総」も引き継がれる。・「桂台西総合」は新校の所在地の地域名から。生徒会が提出した。・「青葉」「青葉台」案は、県内に類似の学校名があるため避けた。（注：「県立あおば支援学校」のことと推測される）
教職員
<ul style="list-style-type: none">・「青葉総合」が多かった印象だ。・神奈川県立が付くので「横浜青葉総合」ではなく「青葉総合」が良い。・「青葉台総合」より「青葉総合」の方が良い。・平仮名「あおば」について、略称「青総」の使用を考えると漢字の方が良い。
学校運営協議会
<ul style="list-style-type: none">・「横浜青葉総合」を提出。「青葉」は所在地、明るく前向きなイメージもある。・「横浜」を付すことで、仙台市青葉区や千葉県立君津青葉高校と区別できる。・「総合」は現在の県立総合高校6校全てに付いているので、付けた方が良い。・「クリエイティブスクール」は、既存の学校にも付いていない。
P T A
<ul style="list-style-type: none">・一方の偏った校名より、両者を合わせた校名が良い。・「麻奈総合」は現行名と変り映えしないため、「総合麻奈」も提示した。・高校名は、平仮名表記でない方が良い。
同窓会
<ul style="list-style-type: none">・「青葉」が良い。県内唯一の総合学科(クリエイティブスクール)になることと、田奈高校R7年度入学生（注：卒業のR9年度まで普通科に在籍）や将来学科改編を考慮し、「総合」を付さなくても良い。・新校の所在地が横浜市であるとはいえ、「横浜」を校名に付けることは、現在川崎市に所在する非活用校「麻生総合」との統合には、馴染まない。
地域の方
なし
学校管理職
<ul style="list-style-type: none">・横浜と川崎両市を跨ぐ統合で、両校の想いを揃えて、「横浜」を付けずに、「青葉総合」が良い。・平仮名「あおば」表記は、既に「あおば」支援学校があるため、区別する上で、漢字表記が良い。・「横浜青葉総合」は長い。他の総合学科と合わせて「横浜」がない方が良い。

小田原城北工業高校・大井高校の校名候補

校名候補案	主な選定理由	視点
<p>小田原北 (おだわらきた)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新校の所在地の市名である「小田原」を冠する。 ○ 小田原市の北部に位置するため「北」を付し、所在地を分かりやすくする。 ○ 新校は普通科・工業科を併置することから、学科を表す言葉は付さない。 ○ 両校の現校名を使用しないことで、新校として一つになって発展するイメージを表す。 ○ 市内東部に位置する「小田原東」高校の例もある。 	①
<p>小田原栢山 (おだわらかやま)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新校の所在地の市名である「小田原」を冠する。 ○ 新校が所在する地名、かつ最寄りの駅名である「栢山」を付す。 ○ 新校は普通科・工業科を併置することから、学科を表す言葉は付さない。 ○ 両校の現校名を使用しないことで、新校として一つになって発展するイメージを表す。 	①
<p>小田原誠明 (おだわらせいめい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新校の所在地の市名である「小田原」を冠する。 ○ 新校の所在地にゆかりのある二宮尊徳に関連する言葉「誠明」を付し、地域から親しまれる校名とする。 (「誠」「明」のどちらも、前向きなイメージがあり、新校にふさわしい。) ○ 新校は普通科・工業科を併置することから、学科を表す言葉は付さない。 ○ 両校の現校名を使用しないことで、新校として一つになって発展するイメージを表し、誇りや期待を持てる校名とする。 	① ③

ア 《学校を通じた意見聴取結果 小田原城北工業高校》

(ア) 【生徒】(意見聴取の方法：生徒会の呼びかけによるアンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
小田原城北 (おだわらじょうほく)	普通科が入るから工業を消してシンプルにした。
栢山北工業 (かやまきたこうぎょう)	地名と元の校名の一部を合わせた。
小田原城北総合 (おだわらじょうほくそうごう)	工業科と普通科の複数学科併置であることから、元の校名に総合をつけた。
城北工業 (じょうほくこうぎょう)	校名を変える必要がないので、元の校名を使用した。
小田原大北工業 (おだわらおおほくこうぎょう)	両校の校名の一部を合わせた。
その他、校名検討に関する意見 なし	

(イ) 【教職員】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
小田原城北 (おだわらじょうほく)	<ul style="list-style-type: none"> ・所在地や吉田島高校の例にも鑑み、地域住民にも慣れ親しんだ校名になる。 ・地域に多くの人材を輩出している学校であるので、城北という名前は浸透している。小田原市立城北中学校との違いを出すため、「小田原城北」とした。 ・城がつく名称は城があった地域だけで、城のない地域から見ると大変うらやましがられる名称である。古くから地域に根差しており、歴史的にも私たちの城北とされていると考える。長くあるので生まれた時から近くにあって親しんできたと考える。かなり歴史が長いので親しまれていると考える。
小田原清流 (おだわらせいりゅう)	統合される両校が清流、酒匂川の両岸に位置するため。
小田原創造技術 (おだわらそうぞうぎじゅつ)	統合される両校の特色であるクリエイティブスクールと工業技術を校名に反映して、未来へはばたくことをもとにしている。
栢山 (かやま)	<ul style="list-style-type: none"> ・所在地の地名を用いた。 ・また、「栢山」とは、小田原最大の歴史上の偉人・二宮尊徳の出生地であり、二宮尊徳の影響を受けた人々にとっては聖地的存在である。この学校が二宮尊徳の生地にあるということをもっと社会に広めていくために、「栢山」という地名を校名に取り入れることを提案したい。

小田原尊徳 (おだわらそんとく)	学校所在地、小田原市栢山は二宮尊徳こと二宮金次郎の生誕地として地域住民に親しまれている。
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業証書や表彰状、賞状を書く場合、神奈川県立を除いた学校名は漢字9文字以内が良い。 なるべく校名は短く、簡潔に、所在地がわかりやすく付けることが大切。 どこにあるか分からない名称や、読めない名称は親しみにくいと考える。双方の校名がなくなるほうが公平と考えると「栢山高校」もありだと思いが、他の地域から分かりにくい。他県では工業高校に、普通科も併置する学校もある。このままでも支障はない。できれば工業は残したほうが良い。 	

(ウ) 【学校運営協議会】

校名(よみがな)	由来・理由・意見
小田原城北 (おだわらじょうほく)	城北中学校があり、地域に城北が根付いているから。
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <p>小田原栢山高校よりは城北の方が良いと思う。</p>	

(エ) 【PTA】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
小田原城北 (おだわらじょうほく)	小田原城の麓にある、栢山地区に創立63年もの間沢山の生徒が卒業してきた、伝統ある学校。その名を引き継いで頂きたい思いと、新しい気持ちで、在校生と共にこれから羽ばたいていって欲しい思いで考えた。
城北 (じょうほく)	大井高校が小田原市内ではないこと、統合後は普通科が新たに誕生すること、統合後は城北工高の校舎を使用することをふまえ、「小田原」「工業」を削除。
小田原城北総合 (おだわらじょうほくそうごう)	<ul style="list-style-type: none"> 城北の名前を残したい。 普通科だけでなく専門学科があることを表したい。
クリエイティブ城北工業 (クリエイティブじょうほくこうぎょう)	大井高校(クリエイティブスクール)と小田原城北工業高校(工業高校)を合わせた。
小田原大井城北 each person shine school (おだわらおおいじょうほく イーチャパーソンシャインスクール)	一人一人が未来に輝いて行ける学校と願いを込めた。
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回のように、たくさんの方からの意見を聞いて貰えるのはうれしい。いろいろな方法で生徒や卒業生などの意見が反映出来ればいい。 2校の由来のある学校名をそのまま残し、未来に向けて輝ける様に検討いただきたい。統合した後は、使用する校舎の高校の名前を残している場合が多 	

いように思う。「城北」で長年親しまれているので、そのまま使ってほしい。
 ・城北と工業は名前に残してもらいたい。

(オ) 【同窓会】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
その他、校名検討に関する意見 なし	

(カ) 【地域(自治会など)】(意見聴取の方法：自治会長がアンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
城北 (じょうほく)	地域に親しまれてきた地域名だから。校名で何処に位置する学校か直ぐにわかるから。
小田原城北清流 (おだわらじょうほくせいりゅう)	酒匂川の清らかな流れの中、清らかな心を育む生徒を醸成する願い。
その他、校名検討に関する意見 ・卒業生や今まで学校の運営に携わってきた方々並びに地域の住民を中心に出来るだけ数多くの意見を聴取して決定して欲しい。 ・工業高校、定時制共に歴史のある高校で、地域で活躍する卒業生も多い。その思いも加味して考えて欲しい。 ・城北を名前の中に残して欲しい。	

イ 《学校訪問にて意見聴取した結果：小田原城北工業高校》

生徒
<ul style="list-style-type: none"> ・「小田原城北総合」が良い。立地や慣れ親しんだ名前「城北」を活かしたい。 ・工業科に、新たに普通科が加わるため「総合」を付す。 ・「栢山」の地名を入学前から、知っていた(小田原市内在住)／知らなかった(市内・市外在住)。 ・「城北」という名称を入学前から知っていた(市内在住)／あまり馴染みが無かった(市外在住)。
教職員
<ul style="list-style-type: none"> ・所在地名が「栢山」であり、シンプル。校名は短い方が良い。 ・生徒にとっても所在地が分かりやすい。 ・校名にすることで、二宮尊徳の出身地「栢山」を全国的にアピールできる。 ・「小田原城北」は、部活動の大会で以前「小田原城/北(おだわらじょうきた)」と読まれたことがある。また城から距離があるので「小田原北」でも良い。
学校運営協議会
<ul style="list-style-type: none"> ・「城北」を残し、「小田原城北」が良いという案があった。小田原は城を中心にする考え方が強い。 ・個人的には2校が統合するため「小田原東」のように「小田原北」でも良い。 ・「小田原」を冠さず、「城北高校」でも良いと思う。 ・「栢山」は最寄り駅だが、馴染みが薄いと思う。
P T A
<ul style="list-style-type: none"> ・このあたりの方は「城北」という名前に愛着を持っている人が多い。しかし、遠方の方だと、それほどこだわりはないのではないかと。 ・小田原は城のイメージが強いため、「城」を付けたいという意見がある。 ・近隣に「城北中学校」もあり、地名である「栢山」よりも「城北」が良い。
同窓会
なし
地域の方
<ul style="list-style-type: none"> ・小田原は城を中心に文化を支えているため、「城北」を残したい。 ・「栢山」は、市に馴染んでいないのではないかと。
学校管理職
<ul style="list-style-type: none"> ・現在も略称で「城北高校」と言われることが多い。普通科併置のため、学科名である「工業」を除き、「城北高校」とすると分かりやすい。 ・非活用校である「大井高校」にも配慮する必要があるが、一方で新校の所在地の点で「大井」を付することは難しい。 ・「東栢山城北自治会」「城北中学校」など、この周辺には他にも「城北」を付している組織がある。

ウ 《学校を通じた意見聴取結果 大井高校》

(ア) 【生徒】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
城井 (じょうい)	両校の校名からそれぞれ「城」と「井」をとった。
高德 (こうとく)	すぐれて高い徳。また、その徳のある人。
小田原栢山 (おだわらかやま)	栢山駅が近いから。
その他、校名検討に関する意見 なし	

(イ) 【教職員】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
小田原北 (おだわらきた)	大井町も江戸時代は小田原藩の所領だったため、「小田原」を冠してもよいと思うから。また、地形的に小田原の北部にあるため。
誠明 (せいめい)	地域の偉人二宮尊徳の院号。誠明院功誉報徳中正居士が戒名。
報徳 (ほうとく)	地域の偉人二宮尊徳の院号。少し時代とは合っていない感じがするが。
酒匂 (さかわ)	酒匂川を挟んだ両校が再編・統合となるため。
クリエイティブ&テクノロジー	クリエイティブスクールとテクノロジストの育成をめざす学校だから。
小田原城北 (おだわらじょうほく)	歴史的に城北工業であったので、工業の専門ではなくなるので、工業を外してみた。
創造 (そうぞう)	工業のモノ作り、クリエイティブの和訳から。何方かの校名を残したり生かしたりすることや、地名や方角等を使うことより全く新しい視点で考えた方がよい。
七夕 (たなばた)	川を挟んで2つの高校が一つになったから、よくある七夕の物語になぞらえて。
その他、校名検討に関する意見 なし	

(ウ) 【学校運営協議会】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
小田原城北 (おだわらじょうほく)	これまでの県立高校の名称を見ると地域名に根ざしたものが圧倒的に多いと感じている。大井も名に入れたいところではあるが、2つの学科に2校の特色ある教育が存続される。よって最もシンプルに地域名を入れたものに

	したい。これにより地域や在學生に受け入れやすい新学校にふさわしい名称になると考える。
小田原クリエイティブ (おだわらクリエイティブ)	全く地名のみにこだわらない。これまで両校とも生きる力(創造力の育成)を正に育む教育を実践してきた学校であり、その2校が統合されるため。
小田原創造 (おだわらそうぞう)	全く地名のみにこだわらない。これまで両校とも生きる力(創造力の育成)を正に育む教育を実践してきた学校であり、その2校が統合されるため。
小田原希望 (おだわらきぼう)	生徒たちの未来に向かう明るい目標(望み)を表すもの。
その他、校名検討に関する意見 なし	

(エ) 【PTA】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
大城 (おおじょう)	大井高校の「大」と小田原城北工業高校の「城」を取り、「大城」高校。
西湘総合 (せいしょうそうごう)	小田原城からも離れているし、地名はどうかと思ったのと、統合されることから西湘エリアでの高校名にふさわしいと思った
栢山 (かやま)	最寄り駅の栢山から。
大井城北 (おおいじょうほく)	2つの高校の名前をいれた。
小田原総合 (おだわらそうごう)	両校の名前を入れたかったが無理がある為、所在地の小田原と、工業科・普通科で総合とした。
その他、校名検討に関する意見 なし	

(オ) 【同窓会】(意見聴取の方法：アンケート)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
西湘学園 (せいしょうがくえん)	地域性の強調「西湘」という名称は、小田原と大井の地域を広く含む地域名であり、地域住民や生徒に親しみやすい名前だから。さらに、「学園」という言葉は、学びと成長の場を強調し学園という言葉には包括的な教育環境を提供し、全人的な成長を目指す姿勢を示して欲しい。合併によって生まれる新しい学校として、過去の伝統を尊重しつつ、新たな一步を踏み出す決意を込めた。両校の良いところを融合し、より良い教育環境を提供する意志を表現した。あと、ポジティブなイメージ「西湘学園高等学校」という名前は、地

	域に根ざし、成長と発展を象徴するものとして前向きな印象を与えた。この名前は、地域性を強調しつつ、新しい統合校としての理念をしっかりと示すものとして適しているのではないか。
西湘創英 (せいしょうそうえい)	「創英」は、「創造」と「英知」を組み合わせた。新しい学校、緑に恵まれた場所として素晴らしい校名が決まると良い。
光明 (こうめい)	学校全体が明るくて地域の人たちにも元気を与えて、地域全体も巻き込む明るい学校にして欲しい。それと、先生方からたくさんのことを学んで将来に生かし立派にこの世のため人のために考えられる人になって巣立って欲しいと言う意味を込めた。
県西 (けんせい)	県西地区の県西から由来。
小田原北総 (おだわらほくそう)	小田原市の北部に位置するという意味での北、「総」は普通科から工業科まで幅広く学ぶことができることの意味。
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <p>社会に出て恥をかかないように、かつ、明るく自分の意志を持って強く生きられるように教育して欲しいという意味も込めた。この気持ちがみんなに伝わったら嬉しい。</p>	

(カ) 【地域（自治会など）】（意見聴取の方法：アンケート）

校名(よみがな)	由来・理由・意見
小田原城北 (おだわらじょうほく)	<ul style="list-style-type: none"> ・通称「城北（じょうほく）」が浸透している。 ・総合学科ではなく併設学科とのことで、校舎は現城北工業高校に置くことから工業を削除した。
大井城北 (おおいじょうほく)	現在は小田原城北であるが、大井高校と統合するので、小田原を大井に変えた。
報徳 (ほうとく)	栢山の地にあるため。
城北 (じょうほく)	新校として、小田原や工業を取る。
その他、校名検討に関する意見 なし	

エ 《学校訪問にて意見聴取した結果：大井高校》

生徒
<ul style="list-style-type: none">・「小田原栢山」が良い。校名は地域名があった方が分かりやすい。・城北の「城」と大井の「井」を足して「城井」でも良い。・「栢山」は、大井高校の生徒なら通学で利用している人もいるので、分かる。
教職員
<ul style="list-style-type: none">・「創造」が良い。クリエイティブスクール、小田原城北工業のものづくりの両方の意味を込めている。・「クリエイティブ&テクノロジー」のように、地名や方角と関係ない校名も新鮮だと思う。・必ずしも「小田原」「大井」の地名に拘りは無い。
学校運営協議会
<ul style="list-style-type: none">・「大井」がなくなるのは寂しいが、新校の所在地「小田原」を付す方が良い。・「小田原」と「城北」であれば、「小田原」を付したい。・両校の教育内容、生徒が愛校心を持つ、地域に愛されるという3点が大事。
P T A（管理職が代弁）
<ul style="list-style-type: none">・P T Aではシンプルに両校を掛け合わせた名前の「大井城北」が多かった。・「栢山」は、地域にズームインしすぎとの印象だ。小田急線各駅停車の駅なので、急行停車駅の「開成駅」の方が馴染みある印象。・「城北」は、生徒も保護者も馴染みがあり、認知度は高い。
同窓会（管理職が代弁）
<ul style="list-style-type: none">・直近の卒業生の意見で「光明」があった。前向きなイメージがある。・かなり前の卒業生から「県西」「小田原北総」という案が出た。・大井町から高校がなくなる事は寂しいが、「小田原」が付くのは仕方ない。
地域の方
<ul style="list-style-type: none">・地域では、特に工業・建築関係の進路を希望する者に「城北」の通称が浸透。・西大井の自治会でも、「大井」より「城北」の名前が通っている印象がある。・「大井」を残したいとの意見もあるが、「城北」が良いとの意見も多い。・もし「小田原城北」と「大井城北」であれば、「小田原城北」が良い。
学校管理職
<ul style="list-style-type: none">・「小田原北」「誠明」「報徳」「酒匂」が良い。・大井町もかつては小田原藩領だったため、「小田原」を冠しても良い。・「誠明」「報徳」は二宮尊徳の関連の名前。・「酒匂」は新校の近くを流れる酒匂川からとったもの。

4 協議経過

開催日		協議内容
令和6年 11月1日	第28回	<ul style="list-style-type: none"> ・校名選定の対象校等について ・校名選定の考え方について ・学校訪問による関係者からの意見聴取等 (小田原城北工業高校、大井高校)
令和6年 11月8日	第29回	学校訪問による関係者からの意見聴取等 (田奈高校、麻生総合高校)
令和6年 12月3日	第30回	<ul style="list-style-type: none"> ・校名選定の進め方について ・対象校の校名候補について
令和6年 12月25日	第31回	・県立高校校名検討懇話会（Ⅲ期）第二次報告書について

県立高校校名検討懇話会の設置及び運営に関する要綱

(設置目的)

第1条 県立高校改革に伴う再編・統合等の対象となる高校の校名に関する有識者等の意見を聴取し、校名検討に反映させるため、県立高校校名検討懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

(意見を求める事項)

第2条 懇話会は、次の事項について専門的見地等に基づき検討し、その結果を教育長に報告する。

(1) 県立高校改革に伴う再編・統合等の対象となる高校の校名に関すること。

(2) その他校名に関し教育長が必要と認める事項。

(設置期間)

第3条 懇話会の設置期間は、令和9年3月31日までとする。

(構成員)

第4条 懇話会は、教育行政や学校教育に関する学識経験を有する者等や一般県民（公募構成員を含む）から選定した者5名をもって構成する。

2 懇話会の構成員（以下「構成員」という。）の選任期間は2年間とする。ただし、最初の期間は、懇話会設置の日から平成30年3月31日までとする。

(会長)

第5条 懇話会に会長1人を置く。

2 会長は、構成員の互選により定める。

3 会長は、懇話会における意見を取りまとめる。

4 会長が不在のときは、あらかじめ会長が指名する者が代理する。

(会議の開催)

第6条 懇話会は、会長が必要に応じて開催する。

2 会長は、必要があると認めるときは、懇話会に構成員以外の者を出席させることができる。

(庶務)

第7条 懇話会の庶務は、教育局総務室が行う。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営等に関し、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年3月18日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年3月31日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年3月28日から施行する。

令和6年度 懇話会構成員(50音順)

	氏名	役職
①	大野 光雄	ニコ株式会社代表取締役
②	剣持 知浩	公募構成員
③	小島 由美【会長代理】	神奈川県立横浜平沼高等学校校長
④	橋本 千春	前神奈川県立高等学校PTA連合会会長
⑤	山本 光【会長】	横浜国立大学教育学部教授